



わだしいすき

第40号 平成24年12月13日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

電話 0470-47-3427

歩け歩け大会、行われる

和田地域づくり協議会『WAO!』の生きがい部会が主催した、歩け歩け大会が11月18日（日）に行われました。昨年も行われ、昨年は南三原駅からシェークスピアカントリー公園を経て、海岸を和田地域センターまで歩きました。

今年は道の駅「和田浦 WA・O!」がオープンしたこともあり、道の駅を出発・到着点とし、和田地区の文化財を巡る歩け歩け大会となりました。講師は丸山公民館の、諏訪彰義館長です。

出発式を終えた後、最初に訪れたのは仁我浦区・熊野神社です。前日は大雨であったにもかかわらず、境内はきれいになっていました。この日の朝、掃いたのでしょう。感心させられました。ここでは神社の格には10段階あることや鳥居の形も10種類あることなどについて、また彫り物や彫った人物について説明を受けました。



柴区・御霊神社

2番目の訪問先の柴区・西福院では、竜の彫り物が後藤義信作であること。3番目に訪問した柴区・御霊神社には後藤恒俊作の彫り物があること。さらに4番目の訪問先の花園区・諏訪神社にも後藤恒俊と思われる作品があることを教えてもらいました。この後藤一族ならびにお弟子さんたちの彫刻は、安房地方や君津地方に広く分布しているそうです。



花園区・諏訪神社

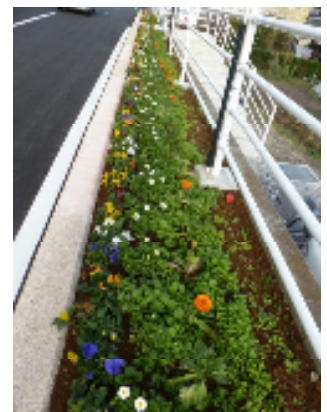
さて、神社には竜の彫り物が多いのですがなぜ多いのか。その訳を聞くと、竜は水にゆかりのある架空の動物であり、そのことから防火への願いが込められているようです。

今回は文化財を訪れるということから、安房の文化財に詳しい方も何人か参加していました。そのため参加者からの質問も多く、諏訪館長はそのたびに詳しく、またわかりやすく説明してくれました。聞き応えのある充実した2時間半となりました。

花は元気に育っています

先月末に、にぎわい部会や北三原植栽ボランティアの皆さんが植えてくれた、パンジーにキンセンカ、ノースポールに菜の花が順調に育っています。植えた当初は風が吹くと飛んでいきそうでしたが、今ではしっかりと根を張り、強風も何のそのです。植えた当初、にぎわい部会員の皆さんが根がしっかりと張るようと、毎日水やりを行ったことが大きいと思います。

今は花が少しずつ咲き始めています。この後も皆さんで肥料等に気をつけて、さすが和田の道の駅といわれるように、心なごませる花を咲かせていきましょう。



コミセン前の花壇

拓心高生、植栽ボランティア

松食い虫により、国道 128 号線沿いや県道和田丸山線（フラワーライン）沿いの黒松が、無惨に枯れてしまったのは皆さんご存知と思います。この松林は今から 50 年ぐらい前に、植えられたものです。それが少しずつ成長し、立派な防風林（防砂林）になったのに残念です。これだけ松食い虫による被害が多くなったのは、気象の関係や防虫対策の変化など、様々な要因が考えられるそうです。



放課後に植栽作業

現在、枯れた松はだいぶ切り倒されたため松林がなくなり、フラワーライン沿いでは、海から吹く風が強くなり感じられるようになってきました。

そこで千葉県南部林業事務所が中心となり、防風林を復活させる取り組みが始まっています。その一環として、11 月 7 日に安房拓心高校近くのフラワーライン沿いで黒松などが植えられました。その植栽に、安房拓心高校の生徒がボランティアで参加しました。前日に雨が降った関係で、水がだいぶたまったりぬかるんだりしていました。午前中は園芸・畜産系列の生徒約 50 名が、放課後は運動部に所属している生徒約 150 名が参加してくれました。

この日に植栽した苗木は、黒松が 50 %、マサキとトベラが 25 % ずつで、この 3 種類を組み合わせ合わせて植えました。この 3 種類は常緑樹で潮風にも強く、それぞれ木の成長が違うので防風林として使われることが多いそうです。

取材したのは午後ですが、さすが運動部の生徒達、ぬかるみなどを気にせずどんどんと進み、午前と午後を併せて、なんと約 3000 本も植えてしまいました。このパワーには、南部林業の職員も驚いていました。

今回ボランティアで参加した子どもたちが、将来フラワーラインを通った時、この木は「私たちが植えた」と思い出すとともに、自然保護の意識を高めてもらえたらと思います。

和田のボランティア団体

和田地区でボランティア活動に取り組んでいる方々を紹介しています。今号は次の団体です。

南三原おもちゃと絵本の図書館

就学前の幼児や乳幼児を対象に、毎月第 4 土曜日午前中に和田地域福祉センター「やすらぎ」で、おもちゃと絵本の図書館が開かれています。この図書館は今から 20 年近く前に、子ども好きの南三原小の保護者の皆さんが立ち上げました。



子どもたちは部屋に入ると、おもちゃで遊んだり絵本を読んだりしながら、人との信頼関係や仲間との関係を築いていきます。その間、保護者の皆さんは、子育てについての悩みを相談したり情報交換したりしています。いま核家族化の時代になり、なかなか子育てについて相談する場がなくなってきています。その一助になるように「地域で一緒に育てる」「祖父母の知恵を借りて育てる」ことを心に置き、活動しているそうです。難しい相談は、専門家を紹介することもあるとのこと。



高校生ボランティアと遊ぶ子ども

今後の予定ですが、12 月は 22 日（土）に今年最後の図書館を開くので、多く子どもたちと保護者が来場し「一緒になって楽しんでくれたらいいな」とのことです。

現在ボランティアを募集しています。お子さんの好きな方や将来保育士などを目指す中・高校生など、ご協力いただける方や興味のある方は、第 4 土曜日午前中に「やすらぎ」までお願いします。